

令和元年度事業実績報告

奈良支部重点項目



令和元年度

奈良支部の重点項目



1. コミュニケーション（意思疎通）
Communication
2. コラボレーション（協力連携）
Collaboration
3. コントリビューション（寄与貢献）
Contribution

3つの「C」により、保険者機能を発揮し、
加入者に質の高いサービスを届けよう！

企画総務部

令和元年度奈良支部の事業運営について(企画総務部)

奈良支部企画総務部における目標

テーマ:「意思疎通の強化によるチーム力の向上」

- ① 「全国レベルによる奈良支部の弱み」の把握と機動力の発揮
- ② より一層の「アウトソース化」による業務の推進
- ③ 「戦略的シナリオの共有」と「エビデンス」に基づく発信力・行動力の強化

企画総務部 事業重点項目

1. ビッグデータを活用した健康・医療データの効果的な活用
2. 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の実施
上位目標: 虚血性心疾患による入院外受診率10%減らす
 - ①「生活習慣病予防健診」目標受診率の実現
 - ②「事業者健診データ」目標取得率の実現
 - ③「被扶養者特定健診」目標受診率の実現
 - ④「特定保健指導」目標実施率の実現
 - ⑤「重症化予防対策」の実施
 - ⑥「健康経営実施事業所」の拡大
 - ⑦自治体・関係団体との協定締結・連携の促進
3. パイロット事業の提案と分析・調査研究の実施
4. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者・事業主等への理解促進
5. ジェネリック医薬品の使用促進と医薬品適正使用対策の実施
6. エビデンス(医療データ・アンケート調査)による
地域医療提供体制への働きかけと加入者への発信
7. 組織運営体制の強化

企画総務グループ

1. 健康経営の普及促進について

奈良支部データヘルス計画におけるコラボヘルス事業の取り組みとして、事業主・従業員が職場における健康づくりに興味・関心を持ち自ら取り組む環境づくりをサポートすることを目的として実施。また、経済産業省の顕彰制度「健康経営優良法人認定制度」への申請事業所数の拡大を図る。

■「職場まるごと健康チャレンジ」の実施

○事業の内容

奈良支部が提供する簡単な健康づくりメニューの中から、職場で取り組む「健康づくりメニュー」と、従業員個人で取り組む「健康づくりメニュー」を自由に一つ以上選んで3か月間チャレンジいただく。チャレンジ終了後、表彰要件を満たした事業所を表彰。

《第4回「職場まるごと健康チャレンジ」表彰式》

- 事業内容 ①健康づくりメニュー等の作成など一式
②参加勧奨及び発送、アンケート等業務一式
- 実施数 ①健康づくりメニュー(職場編:1,150部、個人編:20,500部)など
②参加勧奨(電話勧奨):4,029社
- 費用 2,885千円(内訳:①1,157千円 ②1,128千円)



＜職場まるごと健康チャレンジ参加事業所及び表彰事業所数の推移＞

実施回数	実施時期	参加事業所	参加者	表彰事業所数	
				金賞	銀賞
第1回	2016.12.1 ～2017.2.28	81社	2,450名	42社	5社
第2回	2017.8.1～ ～2017.10.31	321社	7,049名	18社	40社
第3回	2018.6.1～ ～2018.8.31	471社	11,741名	28社	40社
第4回	2019.7.1～ ～2019.9.30	707社	15,095名	48社	40社

■健康経営優良法人認定事業所数の拡大

- 「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業、医療法人等の法人を顕彰する制度。
- 優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することが目的。
- 本認定制度は、規模の大きい企業や医療法人等を対象とした「大規模法人部門」と、中小規模の企業や医療法人等を対象とした「中小規模法人部門」の2部門に分け、それぞれの部門で「健康経営優良法人」を認定。
- 2020年3月2日に「健康経営優良法人2020」が発表され、認定企業は前年に比べ大幅に増加。大規模法人部門1,481社、中規模法人部門に4,723社が、日本健康会議より認定。

<健康経営優良法人認定事業所数の推移>

		大規模法人部門	中小規模法人部門
2018	全国	541社	776社
	協会けんぽ奈良支部 加入事業所	2社	4社
2019	全国	821社	2,503社
	協会けんぽ奈良支部 加入事業所	4社	22社
2020	全国	1,481社	4,723社
	協会けんぽ奈良支部 加入事業所	9社	44社

参考:奈良県内の健康経営優良法人2020認定企業一覧

《健康経営優良法人2020 大規模法人部門 9社》



トヨタカローラ奈良株式会社	奈良トヨタ自動車株式会社
医療法人 鴻池会	富士運輸株式会社
社会福祉法人 正和会	市民生活協同組合ならコープ
ニッタ株式会社	株式会社ホンダネット京奈
医療法人 新生会	

(順不同)

《健康経営優良法人2020 中小規模法人部門 44社》



有限会社保険プラン社	池田工業社	株式会社ティーエスプランニング	松田電気工業株式会社
株式会社アイワモータース	株式会社天理時報社	株式会社トップテラス	川端運輸株式会社
株式会社アスカデンタルサプライ	有限会社奈良保険センター	株式会社ナカガワ	大和物産株式会社
有限会社エスモ	HAUZEX株式会社	ニッタ・ハース株式会社	特定非営利活動法人あけび
株式会社スマート・アイ	株式会社アイワ	株式会社ヒガシモトキカイ	株式会社奈良コープ産業
株式会社トヨタレンタリース奈良	エス・フィールド	株式会社よしの	奈良スズキ販売株式会社
株式会社ハンナ	有限会社エナミ総合保険事務所	株式会社リビングイワイ	日進電工株式会社
株式会社介護サービスしず	オーケーディー株式会社	株式会社岡本設備	名阪食品株式会社
株式会社丸國林業	株式会社オーテック	河村繊維株式会社	医療法人田北クリニック
有限会社吉井美和保険	株式会社サンロード	花松印刷株式会社	五條運輸株式会社
株式会社森村設備	シマダ自動車整備株式会社	山本松産業株式会社	株式会社ナミット

(順不同)

■「健康経営事例集」の作成

健康経営の普及促進のため、健康経営優良法人2019の認定を受けた県内企業23社の事例を掲載した事例集を作成し、協会けんぽ加入事業所に配布。

《令和元年度版 健康経営事例集》

- 作成数 2,500部
- 配布先 職場まるごと健康チャレンジエントリー事業所:約700社
健康保険委員:約1,300人
その他セミナー時等に配布
- 費用 1,407千円



■「健康経営推進に向けたトップセミナー」の実施

関係団体の幹部職員に「健康経営」の重要性を理解いただき、協会けんぽ奈良支部や各団体間の連携を強化し、今後の健康経営推進に向けた具体的なアクションを起こすきっかけとすることを目的に開催。

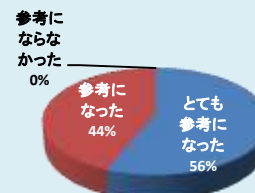
- 開催日 令和元年5月14日(火)
- 参加数 39人
- 費用 89千円(講師謝金等)

「健康経営推進に向けたトップセミナー」アンケート集計結果

(アンケート回収数: 35件 回収率: 89.7%)

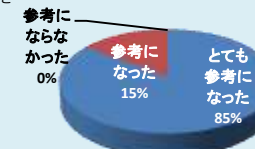
1. ミナケア山本先生の講演の内容及かがでしたか?

1. とても参考になった
2. 参考になった
3. 参考にならなかった



2. 協会けんぽからの「県内企業への健康経営の普及のために」の内容及かがでしたか?

1. とても参考になった
2. 参考になった
3. 参考にならなかった



■事業所健康度診断カルテの提供

事業所単位で健康、医療データを「見える化」した事業所健康度診断カルテ(職場まるごと健康度カルテ)を作成し、健康経営推進に向けた働きかけを強化する。

- 作成数 293部
- 配布先 職場まるごと健康チャレンジエントリー事業所
その他、事業所訪問の際の資料として活用
- 費用 0円(内製化 郵送費含まず)

《職場まるごと健康度カルテ(サンプル)》



■健康講座の実施

健康経営に取り組む事業所をサポートするため、保健師や管理栄養士等を加入事業所へ派遣して健康講座を開催し、加入者の健康度の向上を図る。

- 対象 15事業所
- 実施数 13事業所
- (新型コロナウイルスの影響により3月に実施予定の2社がキャンセル)
- 費用 814千円(62千円/1社)

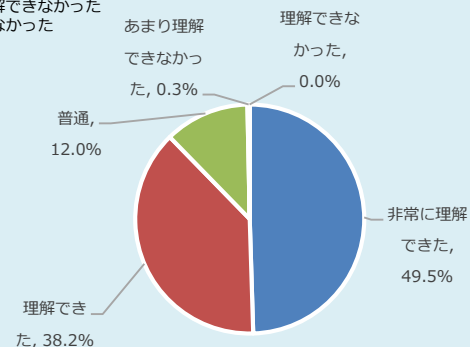
《健康講座と実施状況》

番号	講座名	実施社数	実施者数	割合
①	考えてみましょう 禁煙後の豊かな生活	1社	25人	7.7%
②	動脈硬化を予防しよう	4社	66人	30.8%
③	コツコツ実践。身体活動量を増やすコツ	4社	108人	30.8%
④	ストレスマネジメントの実践	2社	33人	15.4%
⑤	よりよい人間関係のためのコミュニケーション	2社	77人	15.4%
合計		13社	309人	100%

「健康講座」アンケート集計結果(抜粋)

講座内容はいかがでしたか？

1. 非常に理解できた
2. 理解できた
3. 普通
4. あまり理解できなかった
5. 理解できなかった



2. 関係団体との事業連携について

■奈良県歯科医師会との協定締結(協定締結日:令和元年6月20日)

加入者に対する健康保持増進のための取り組みを行うに当たり、相互に連携、協力すべき事項を明確化するとともに、奈良県民の健康づくりの推進に向けた取り組みを通じて、健全な職場環境と加入者の健康的な生活実現に寄与することを目的とする。

《協定締結の様子》



○協定項目

- (1) 歯及び口腔の健康に関すること
- (2) 定期的な歯科健診の受診に関すること
- (3) かかりつけ歯科医の普及に関すること
- (4) 生活習慣病の発症予防と重症化予防に関すること
- (5) その他、協定の目的を達するために必要な事項に関すること

■歯科検診の実施

歯科医師会と連携し、被扶養者の特定健康診査(集団健診)の会場を活用し、歯科健診(受診者の自己負担なし)を実施した。

《歯科検診の実施状況》

- 対象 被扶養者向け集団特定健診健診5会場
- 実施数 111人
- 費用 479千円(96千円/1会場)

日程	場所	実施者数
令和2年1月30日(木)	大淀町文化会館	16人
令和2年2月13日(木)	まなびやの森かつらぎ	21人
令和2年2月20日(木)	奈良県社会福祉総合センター	25人
令和2年2月27日(木)	広陵町ふるさと会館グリーンパレス	25人
令和2年3月5日(木)	天理市文化センター	24人
合計		111人

■協力事業者との覚書締結による加入事業所に対する健康経営の普及促進

民間事業者と連携して、加入事業所に対して当支部が実施している健康宣言事業「職場まるごと健康チャレンジ」への参加拡大及び健康経営優良法人認定申請事業所数の拡大を図るとともに、生活習慣病予防健診や特定保健指導等の受診促進を図ることで、加入者の健康度向上及び医療費適正化に繋げることを目的とする。

- 締結先

AIG損害保険株式会社	(締結日:平成31年4月5日)
住友生命保険相互会社奈良支社	(締結日:令和2年2月20日)

《参考:自治体、団体との協定締結状況一覧》

平成23年1月6日付	奈良県	平成31年3月20日付	奈良県医師会
平成28年12月1日付	奈良県薬剤師会	平成31年3月27日付	健康経営普及促進に向けての協力事業者(6社)
平成29年2月13日付	奈良県社会保険労務士会	平成31年4月5日付	健康経営普及促進に向けての協力事業者(1社)
平成30年1月30日付	奈良市	令和元年6月20日付	奈良県歯科医師会
平成30年8月2日付	奈良産業保健総合支援センター	令和2年2月21日付	健康経営普及促進に向けての協力事業者(1社)

3. ジェネリック医薬品の使用促進について

目標	74.6%	実績	73.1%※
----	-------	----	--------

【KPI】奈良支部のジェネリック医薬品使用割合を74.6%以上とする。

※令和2年2月使用分

■ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの実施

- 協会けんぽでは、処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、どのくらいお薬代(薬剤料)が軽減されるか試算した「ジェネリック医薬品軽減通知」を、年2回、自己負担額が一定額以上安くなるが見込まれる加入者の方へ送付している。
- 令和元年度においては、奈良支部では、**約5.7万人**の方に通知を送付。(全国では**約657万人**の方に送付。)
- 当通知の送付を平成21年度から実施しており、平成21年度から平成30年度までの10年間の累計では、奈良支部では**約11.1億円**、全国では**約1,485億円**の軽減効果があった。(単純推計ベース)

《ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの概要》

実施時期	対象	コスト		通知者件数	切替者数	切替率	軽減額/年	
令和元年度 (8月・2月実施)	>15歳以上の加入者 >第1回目 令和元年2~4月レセプト 第2回目 令和元年8~10月レセプトにおいて、 医科レセプト500円以上、調剤レセプト50円以上の軽減効果が見込まれる方	集計中	奈良	(1回目)	約3.1万件	約8.4千人	26.9%	約1.3億円
			奈良	(2回目)	約2.6万件	集計中(8月公表予定)		
			全国	(1回目)	約357万件	約101万人	28.3%	約157.6億円
			全国	(2回目)	約300万件	集計中(8月公表予定)		
平成21年度~平成30年度 累計		約53.2億円	奈良		約26.6万件	約6.2万人	23.3%	約11.1億円
			全国		約3,301万件	約818万人	24.8%	約1,485億円

■ 県内医療機関・保険薬局への「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」の送付

ジェネリック医薬品使用促進のため、個々の医療機関や薬局ごとのジェネリック医薬品使用割合等を掲載した「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」を送付。

- 対象 奈良県内 医療機関・薬局
- 実施数 76病院、481薬局（令和元年4月）
78病院、148診療所、520薬局（令和元年11月）
- 費用 0千円（内製化 郵送費含まず）

《ジェネリック医薬品に関するお知らせ》

1. 協会けんぽ加入者への調剤状況

「調剤料」「二次調剤費」「調剤料」が調剤費にそれぞれ占める割合を掲載しています。

〇〇〇医療機関		調剤料	二次調剤費	調剤料
人 数	協会けんぽ調剤した薬局の加入者数	813 人	234 人	286 人
	協会けんぽ調剤した加入者数	240 人	84 人	79 人
	協会けんぽ調剤した加入者割合	29.5%	35.5%	27.6%
調 剤 費	協会けんぽ調剤総額	114,499	27,800	14,999
	協会けんぽ心身医療事業部調剤総額	55,320	4,223	2,913
	協会けんぽ調剤割合	31.3%	3.9%	7.4%
調 剤 料	協会けんぽ調剤割合	36.2%	48.9%	25.2%
	協会けんぽ調剤した薬局の調剤総額	1,925,199 円	424,244 円	611,524 円
	協会けんぽ調剤割合（11月）	640,214 円	200,000 円	121,668 円
調 剤 料	協会けんぽ調剤割合（11月）	25.5%	30.5%	30.8%

※本表は、調剤した1ヶ月間のデータに基づき算出されています。調剤料は調剤した1ヶ月間の調剤料を指し、調剤料は調剤した1ヶ月間の調剤料を指し、調剤料は調剤した1ヶ月間の調剤料を指します。

《参考：「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」の送付状況》

	医療機関		薬局
	病院	診療所	
平成30年度	76	—	499
令和元年4月	76	—	481
令和元年11月	78	148※	520

※院内処方では処方数量10,000以上の診療所

■事業所まるごとジェネリック医薬品使用促進事業【事業計画の見直し】

【事業計画】

事業内容: 事業所ごとのジェネリック使用割合を明示し、事業主に「ジェネリック医薬品使用促進協力宣言事業所」として協力要請を行い、使用割合が高い事業所を優良事業所として表彰する。

予 算 : 2,890,543円

【事業見直しの経緯】

奈良県薬剤師会の助言として、事業所ごとの使用割合によって表彰するという取り組みは、事業主から従業員に不適切な圧力(病状等の個別の事業により先発薬を選択せざるを得ないにも関わらず、ジェネリック医薬品の使用を強制される等)がかかる可能性があり、不適切ではないかとのご意見をいただいた。

【奈良支部の対応】

当評議会でもご確認いただき、奈良県薬剤師会の助言を踏まえ、事業を見直すこととした。加入者への普及促進を促す事業(ジェネリック医薬品使用促進広報等)に予算を振り替えることとした。

■ジェネリック医薬品使用促進に係る広報等【事業計画の見直し】

使用割合が低迷しているジェネリック医薬品の普及啓発のため、以下の通り重点広報を行うこととした。

《ジェネリック医薬品使用促進に係る広報》

項番	事業名	作成数等	費用
①	ポスターの作成	2,200枚	39千円
②	ヘルシカ君によるPR動画(デザイン料含む)	15秒	540千円
③	バスラッピング広告	3台(期間: 令和元年10月～令和2年3月)	1,081千円
④	バス車内デジタルサイネージ広告	期間: 令和元年10月～令和2年3月	363千円
⑤	Facebook等を活用したSNS広告	期間: 令和元年12月～令和2年3月	220千円
⑥	資料配布用封筒作成	3,000枚	50千円
合計			2,293千円

■ジェネリック医薬品使用促進に係る広報等【事業計画の見直し】

①ポスターの作成



②ヘルシカ君によるPR動画

≪PR動画『安心・節約ジェネリック』(15秒)≫
YouTube 「協会けんぽ 奈良」(検索)



③バスラッピング広告



④バス車内デジタルサイネージ広告



⑤Facebook等を活用したSNS広告



⑥資料配布用封筒作成



奈良県立医科大学近くを巡行するバス車内に広告

■ジェネリック医薬品使用促進(関係団体との連携、情報発信等)

協会けんぽ全体が「ジェネリック医薬品使用促進緊急対策期間の取組」(期間:令和2年1月10日～9月)として医療機関等への訪問による情報提供の強化を行い、医療機関等への情報提供実施件数が支部業績評価の評価対象とされた。

奈良支部では、ジェネリック医薬品使用促進に向けた取り組み強化として、プレスリリースの実施、医療機関・薬局等への訪問によるジェネリック医薬品普及促進要請を実施。

奈良県立医大、天理よろづ相談所病院等の大病院は、奈良県(医療保険課・薬務課)と連携し、共同で病院を訪問した。

《プレスリリース(令和2年2月21日)》



《医療機関等への訪問実績(令和2年2月末時点)》

支部	医療機関	薬局	合計
奈良	12	2	14
大阪	0	0	0
京都	0	2	2
兵庫	0	0	0
滋賀	0	0	0
和歌山	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症への対策として2月28日から訪問等は見合わせています。

奈良支部のジェネリック医薬品使用促進のため、医療関係者を対象に、奈良県医師会・奈良県薬剤師会と連携したセミナーを下記の通り計画。**【新型コロナウイルス感染防止対策のため中止】**

＜セミナーの概要＞

実施日:令和2年2月29日(土)

対象:医師・薬剤師向け

場所:奈良県医師会館

内容:講演①「高齢者の薬物療法～変化するポリファーマシーの考え方～」

大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学 講師 竹屋 泰 先生

講演②「ジェネリック医薬品の新たなロードマップ～ジェネリック医薬品使用率80%を目指して～」

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 教授 武藤 正樹 先生

4. 健康保険委員について

目標	44.0%	実績	47.6%
----	-------	----	-------

【KPI】全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を44.0%以上とする。

健康保険委員の委嘱拡大に向け、未登録事業所及び新規適用事業所への委嘱勧奨を実施。
健康保険委員の活動強化として、情報発信の強化、健康保険委員表彰や研修会等を実施。

■委嘱状況(令和元年度)

- ・ 47.6%(全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合)
- ・ 委嘱者数:1,841名(平成30年度より576名増)

■委嘱拡大に関する取り組み

- 事業内容 委嘱勧奨(外部委託による電話勧奨)
- 対象 2,000社
- 効果 約200社委嘱
- 実施時期 令和元年8月下旬～9月下旬
- 費用 797千円

■活動強化に関する取り組み

- ・健康保険委員向け広報誌「けんぽIZM」を創刊(令和2年1月)
- ・日本年金機構、奈良県社会保険委員会連合会、協会けんぽの3者共催による社会保険委員合同研修会を開催。研修会では、健康保険委員表彰を行うとともに、奈良県医師会の安東副会長による講演を実施(令和元年11月)
- ・第4回「職場まるごと健康チャレンジ」表彰式を兼ねた健康保険委員研修会を開催(イベントは奈良県と共催)。当日は、職場の健康づくりや健康経営に関する幅広い内容の講演等により、経営者・事業所担当者の理解を深めた。(令和2年1月)

5. その他の重要事業について（令和元年度【KPI】項目事業）

■オンラインシステム資格確認システムについて

目標	72.2%	実績	78.7%
----	-------	----	-------

【KPI】現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を72.2%以上とする。

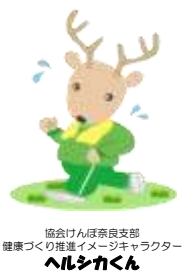
・一括確認等の効果的な利用方法を周知するとともに、定期的に連絡を取りオンライン資格確認システムの有効活用を促す。

■加入者・事業主に対する広報活動について

目標	38.2%	実績	46.3%
----	-------	----	-------

【KPI】広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする。（※平成30年度 38.2%）

≪ 令和元年度・平成30年度加入者理解率の割合 ≫



	令和元年度		平成30年度	
	奈良支部	全国	奈良支部	全国
①保険料	27.0%	27.8%	30.2%	28.5%
②現金給付	57.0%	57.6%	48.3%	49.5%
③健診・保健指導	48.6%	48.6%	46.0%	46.1%
④協会けんぽの取組等	43.0%	44.3%	25.9%	25.7%
⑤医療のかかり方	55.8%	54.2%	40.7%	37.5%
①～⑤平均	46.3%	46.5%	38.2%	37.5%

■外部への意見発信の強化【継続】

目標	100%	実績	100%
----	------	----	------

【KPI】地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率100%とする。（※令和元年度 100%）

目標	意見発信の実施	実績	実施
----	---------	----	----

【KPI】「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する。

保健グループ

保健事業の実施状況

1. 対象者数及び実施数について

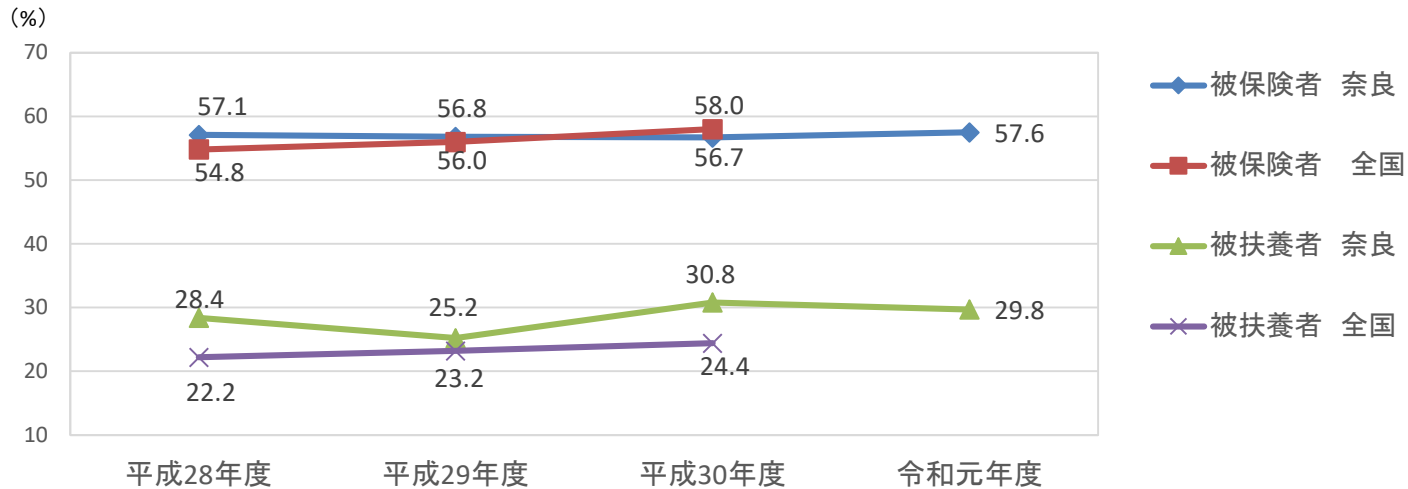
平成28年度～令和元年度（実績）

(1) 健診実績			H28 奈良支部			H29 奈良支部			H30 奈良支部			R元 奈良支部				
			実施数	実施率	順位	実施数	実施率	順位	実施数	実施率	順位	目標数	実施数	目標達成率	実施率	順位
本人	生活習慣病	受診者	47,015	43.40%	42位	50,372	44.40%	43位	53,326	45.50%	43位	61,175	55,673	91.00%	46.20%	—
		予防健診 対象者	108,448			113,521			117,132			120,423	120,423	—		
	事業者健診 データ	受診者	14,952	13.80%	2位	14,123	12.40%	4位	13,064	11.20%	8位	16,378	13,647	83.32%	11.30%	—
		対象者	108,448			113,521			117,132			120,423	120,423	—		
	合計	受診者	61,967	57.10%	—	64,495	56.80%	—	66,390	56.70%	11位	77,553	69,320	89.38%	57.60%	—
		対象者	108,448			113,521			117,132			120,423	120,423	—		
家族	特定健診	受診者	11,663	28.40%	7位	10,440	25.20%	17位	12,690	30.80%	10位	12,009	12,597	104.89%	29.79%	—
		対象者	41,111			41,372			41,235			42,283	42,283	—		
計		受診者	73,630	49.20%	29位	74,935	48.40%	36位	79,080	49.90%	37位	89,562	81,917	91.46%	53.34%	—
		対象者	149,559			154,893			158,367			162,706	162,706	—		

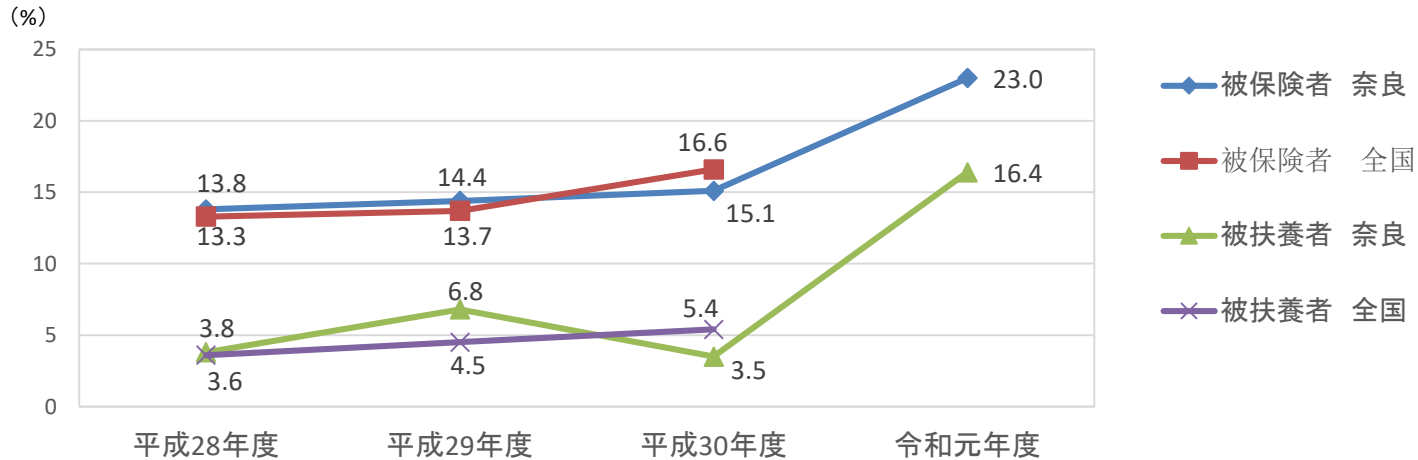
(2) 保健指導実績			H28 奈良支部			H29 奈良支部			H30 奈良支部			R元 奈良支部				
			実施数	実施率	順位	実施数	実施率	順位	実施数	実施率	順位	目標数	実施数	目標達成率	実施率	順位
本人	初回	協会	2,608	22.70%	26位	2,382	18.50%	33位	3,180	21.60%	29位	4,000	4,359	108.97%	29.20%	—
		外部委託 再掲	(31)			(28)			(157)			—	(388)	—		
本人	評価	協会	1,590	13.80%	31位	1,854	14.40%	31位	2,120	15.10%	37位	3,369	3,441	102.13%	23.00%	—
		外部委託 (8)再掲	(8)再掲			(23)再掲			(291)			(157)再掲	(179)再掲	—		
家族	初回	協会	0	7.00%	9位	0	7.30%	12位	0	11.70%	8位	0	0	—	27.70%	—
		外部委託	78			69			149			154(再掲)	269	174.67%		
家族	評価	協会	0	3.80%	20位	0	6.80%	11位	0	3.50%	32位	0	0	—	16.40%	—
		外部委託	42			65			44			105	213	202.85%		
計	初回(協会+ 外部委託)		2,686	評価 実施率	—	2,451	評価 実施率	—	3,329	評価 実施率	—	4,000	4,628	115.70%	—	—
		評価(協会+ 外部委託)	1,632			1,919			2,164			3,474	3,654	105.18%		

2. 実施率について (グラフ)

(1) 健診実施率の推移(H28~R1)



(2) 特定保健指導実施率の推移 (H28~R1)



1. 被保険者健診の推進

目標	50.8%	実績	46.2%
----	-------	----	-------

目標	13.6%	実績	11.3%
----	-------	----	-------

【KPI】生活習慣病予防健診実施率を50.8%以上とする。

【KPI】事業者健診データ取得率を13.6%以上とする。

- 事業所あて受診勧奨を強化する。
 - 年間を通じて健診受診を促す案内を送付。
 - 新規加入事業所への定期的な送付。【平成31年4月～令和2年3月 約800件】
 - 全事業所へ受診勧奨案内送付。【令和元年10月 約15,000件】
 - 全事業所へ令和2年度受診案内送付。【令和2年2月 約15,000件】
- 個人あてダイレクトメール(DM)の送付による受診勧奨を行う。
 - 個人あてに冬期(令和2年1月～3月)の休日集団健診のDMを実施。【12月に県内約5万件送付受診者数:1,295人】
 - 健診申込書事務処理を外部委託し、受診勧奨を効率化。
 - 11月に奈良新聞紙面で休日集団健診のPRを実施。

2. 被扶養者特定健診の推進

目標	28.4%	実績	29.8%
----	-------	----	-------

【KPI】被扶養者の特定健診受診率を28.4%以上とする。

- 被扶養者の特定健診に関し、無料集団健診を拡充する。
 - 上期(令和元年6月～8月)61回 約10,369人(H30年上期に比べ799人増)
 - 再勧奨通知(A4はがき活用)を6月に実施したことにより受診増加。(参考:再勧奨 約32,000件(R1))
 - クリアチニン検査等4つの検査を無料実施。
 - ピロリ菌検査(1,500円)継続実施。
 - 下期(令和2年1月～3月)
 - 上期の無料検査に加え「大腸がん」の検査を無料実施し、上期より受診率が低下する下期の集団健診の受診拡充を図る。
【実施回数31回 受診者2,141人】
 - 5会場で、歯科検診の同時実施を行い、受診拡充を図った。【実施回数5回 受診者122人】

3. 特定保健指導の推進

目標	20.8%	実績	23.0%
----	-------	----	-------

【KPI】特定保健指導の実施率を20.8%とする。

●被保険者特定保健指導。

特定保健指導実施及び継続支援を外部委託し、初回面談実施数増加を図る。

・奈良支部実施分

○事業所への案内をさらに強化 【初回面談数:3,971件】

・外部委託実施分

○初回面談からの専門機関への外部委託をR1.10月から開始。 【初回面談数:48件】

○健診機関責任者向けの説明会を行い委託機関数の増加及び実施数増加を図る。 【12機関、初回面談数:340件】

≪初回面談数合計≫4,359件

●被扶養者特定保健指導

無料健診会場等において、当日の特定保健指導を行う。

○H30年度同様に、健診当日の特定保健指導推進

○健診受診した会場などの身近な場所で、後日特定保健指導を実施(集団・個別)

4. 重症化予防対策の推進

目標	12.0%	実績	11.2%
----	-------	----	-------

【KPI】受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.0%以上とする。

●健診の結果、要治療域と判定されながら治療していない人を、医療に繋げる。

・H30年度の事業は継続実施

・被保険者で、血圧及び血糖高値かつ未治療者に対し、文書での受診勧奨 【1次勧奨対象者に文書での受診勧奨を開始(R1.11月～)】

・奈良市における糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導実施者増加 【令和元年度9名】

・奈良県医師会との連携協定(H31.3.20)に基づき、レッドカード事業をR1.10月より開始。被保険者で、血圧及び血糖高値かつ未治療者に対し、健診結果と同時に文書で受診勧奨(33機関中18機関が契約締結) 【実施健診機関:4機関受診勧奨発送件数:29件】

業務部

令和元年度奈良支部の事業運営について(業務部)

奈良支部業務部における目標

テーマ:「**基盤的保険者機能発揮の確実な実施**」

- ① 現金給付等業務の標準化・簡素化・効率化の徹底
- ② 日々の業務量の多寡や優先度に応じた柔軟な業務処理体制の構築。

業務部 事業重点項目

- 1 現金給付の適正化の推進
- 2 効果的なレセプト点検の推進
- 3 柔道整復施術療養費の照会業務の強化
- 4 あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進
- 5 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進
- 6 サービス向上のための取組
- 7 限度額適用認定証の利用促進
- 8 被扶養者資格再確認の徹底

業務グループ

1. 現金給付の適正化の推進

- 労災の給付が受けられる可能性のある者に対し、本人確認及び労基署照会を行い、労災給付受給者に対し併給調整を実施した。
照会件数:11件
併給調整:返納2件、不支給1件
- 担当医や審査医師等への照会を行った上、総合的判断を以って支給の可否の決定を行った。
担当医照会 :6件
審査医師照会:105件
本人照会 :6件
- 日本年金機構からの支払調整に必要な年金についての情報提供に基づき、支給額の調整を行った。
支給額の調整:286件

2. 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

目標	0.82%	実績	0.79%
----	-------	----	-------

【KPI】柔道整復施術療養費の申請に占める、「施術箇所」3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請割合について対前年度以下とする。

- 支給件数・金額
〔令和元年度 件数:152,337件 金額:613,781,372円〕 対前年度比 件数: 5件 金額: ▲2,933,028円
〔平成30年度 件数:152,332件 金額:616,714,400円〕 対前年度比 件数:▲4,167件 金額:▲19,151,869円
- 疑義申請への対応強化
柔整審査委員会からの返戻〔令和元年度 件数:1,216件 金額:9,886,864円〕 対前年度比 件数: ▲269件 金額: ▲1,059,169円
〔平成30年度 件数:1,485件 金額:10,946,033円〕 対前年度比 件数: ▲434件 金額: ▲38,564,560円
- 3部位以上+15日以上の申請割合 〔令和元年度 0.79% 平成30年度 0.82%〕

- いわゆる「部位ころがし」と呼ばれる、負傷部位を意図的に変更することによる過剰受療に対する照会を強化する。
- 受療者に対する文書照会を強化するとともに、照会時にパンフレット等を同封し柔道整復施術受療に関する正しい知識を伝え、適正受療に繋げる。
- 柔整審査会で、不正な請求が疑われる施術者に対して面接確認を実施し、不正の事実が認められる場合は地方厚生局へ情報提供を行う。

3. あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進

- あん摩マッサージ指圧・鍼灸施術療養費(あはき療養費)の受領委任制度が導入(平成31年1月より運用開始)され、加入者や施術所等に広報し制度周知を図った。
- 文書による医師の同意、再同意の確認を徹底した。

医師照会:18件
患者照会:8件
審査医師:84件

不支給:47件 312,251円
一部不支給:85件 473,599円

4. サービスの向上のための取組

■お客様満足度の向上

「お客様満足度調査」～令和元年度の実施結果～

《窓口相談》 お客様満足度調査結果(窓口アンケート調査) 満足度 **100%**(全支部平均 **98.3%**) 平成30年度 99.0%(全国97.6%)

《電話相談》 お客様満足度調査結果(架電調査) 満足度 **60.0%**(全支部平均 **64.3%**) 平成30年度 60.0%(全国63.6%)

○ 窓口相談については、昨年度を上回り、総合満足度100%を達成した。

○ 電話対応については、昨年度から横ばいで「電話の切り方」「話の聞き方」「言葉づかい」等の項目について満足度が低下した。

○ 電話基本対応の向上に向けた取り組みとして、平成30年度お客様満足度調査結果を分析のうえ奈良支部の弱みを7つのキーワードで示した「電話対応時キーワード確認表」を作成のうえ、全員に周知したことにより「挨拶」の満足度が20.0pt上昇(60.0%→80.0%)した。

■現金給付の迅速な支払い

目標	100%	実績	100%
----	-------------	----	-------------

目標	90.0%	実績	89.3%
----	--------------	----	--------------

【KPI】サービススタンダードの達成状況を100%とする。

【KPI】現金給付等の申請に係る郵送化率を90.0%とする。

○現金給付(SS)の支給状況(1か月平均)※〔〕は前年度

	件数(件)	金額(千円)
傷病手当金	767 [720]	147,521 [139,188]
出産手当金	105 [110]	45,984 [48,779]
出産育児一時金	278 [304]	103,750 [112,049]
埋葬料	27 [28]	1,355 [1,421]

○サービススタンダード(SS)の遵守

※サービススタンダード:申請書の受付から振込みまでの期間を10営業日以内とすること

現金給付(SS)の平均支払日数及びサービススタンダード達成率

・支払日数 [令和元年度 奈良: 6.76日 全国: 7.87日]

[平成30年度 奈良: 6.71日 全国: 7.68日]

・サービススタンダード達成率

[令和元年度 奈良: 100% 全国: 99.73%]

[平成30年度 奈良: 100% 全国: 99.99%]

■申請書の郵送化の促進

○申請書の郵送提出率 [令和元年度 奈良: 89.3% 全国: 89.4%(令和元年12月時点)] [平成30年度 奈良: 87.3% 全国: 89.3%]

・各種申請用紙を郵送する際、奈良支部宛ての返信用封筒を同封することで、お客様の利便性向上及び、郵送化率の向上を図った。

5. 限度額適用認定証の利用促進

目標	86.0%	実績	84.0%
----	-------	----	-------

【KPI】高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を86.0%以上とする。

○「限度額適用認定申請書」の窓口設置、又は入院案内時の配布を行っていただいている医療機関と連携し、「限度額適用認定申請セット」の配布等により、利用促進を図った。

限度額適用認定申請書の使用割合 [令和元年度 84.0%] [平成30年度 84.0%]
 限度額適用認定申請書の1か月平均受付件数 [令和元年度 979件/月] [平成30年度 924件/月]

6. 被扶養者資格の再確認

目標	89.0%	実績	91.7%
----	-------	----	-------

【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を89.0%以上とする。

○未提出事業所に対して、早期に働きかけを行う等、提出勧奨を強化する。
 ○日本年金機構と連携し、未送達事業所について調査し、送達の徹底を図る。

■実施結果

	被扶養者状況リスト関係				被扶養者調書兼異動届(削除用)関係					高齢者医療制度 支援金等の効果額 (負担軽減額)
	①提出 事業所数	②送付対象 事業所数	③提出率 (①/②)	【参考】 30年度 提出率	④異動届 枚数	⑤削除 人数	⑥確認対象 人数	⑦削除率 (⑤/⑥)	【参考】 30年度 削除人数	
奈良	10,983	11,972	91.7%	86.3%	636	691	126,082	0.55%	652	約15百万円
全国計	1,321,600	1,446,812	91.3%	88.0%	58,100	66,193	14,081,158	0.47%	70,897	約1,500百万円

レセプトグループ

1. 効果的なレセプト点検の推進

- 診療報酬が正しく請求されているか確認を行うとともに、医療費適正化を図るために資格・外傷・内容点検を実施する。
- 特に内容点検は一次審査(支払基金)と併せた医療費の適正化を進めているが、協会において「レセプト内容点検効果向上計画」を引き続き策定・実施し、システム点検の効果的な活用や点検員のスキルアップを目指した効果的なレセプト点検を推進する。

目標	0. 387%以上	実績	0. 340%
----	-----------	----	---------

【KPI】社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率*を対前年度以上とする。

* 査定率 = レセプト点検により査定(減額)した額 ÷ 協会けんぽ奈良支部の医療費総額

- ・ 医科・歯科・調剤レセプトの診療内容(検査・処置・薬)の状況について算定ルールが適正であるかどうかを点検員が点検システムを活用し、目視により疑義レセプトの抽出を実施した。
- ・ 本部指導による効果額向上のための行動計画に基づき、点検員に個別の目標設定を行い、査定事例の共有化、研修会、勉強会を実施し点検員のスキルアップを図った。

〔本部主催研修会〕 2回

〔支部独自研修会・勉強会〕 4回 ※他支部との合同開催を含む

2. 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権管理回収業務の推進

- 資格喪失後受診等による返納金債権の発生防止のため、資格を喪失した加入者の保険証の回収については、日本年金機構の資格喪失処理後2週間以内に、協会けんぽから保険証未回収者に対する返納催告を行う。また、被保険者証回収不能届を活用した電話催告も併せて実施する。
- 事業主や加入者に対しては、資格喪失後（または被扶養者認定解除後）は保険証を確実に返却していただくよう、関係団体等と連携を図るとともに、広報誌などの広報媒体や健康保険委員研修会等通じ周知を行う。
- 業務上・通勤途上の傷病について、原則健康保険の使用が出来ない事を周知するため、労働局等と連名でポスターを作成の上、医療機関等での掲示を依頼し適正受診を図る。
- 不適正に使用された医療費等を回収するため、返納金債権等については、債務者と早期接触・回収を図るため、納付期限前の架電を徹底する。
- 納付期限後も定期的に催告状を送付し、積極的に催告を行う。
- 再三の催告にもかかわらず納付なき債務者に対し、法的手続きによる債権回収を図る。
- 資格喪失後受診による返納金債権については、国保保険者との保険者間調整を積極的に活用し、回収に努める。
- 傷害事故や自転車事故等の加害者本人あての求償事案においても適正に請求する。
- 交通事故等が原因による損害賠償金債権については、損害保険会社等に対して早期に折衝を図り、より確実な回収に努める。
- 債権回収進捗会議を月次で開催し、課題・問題点を整理し今後の債権回収の促進を図る。

目標	94.0%以上	実績	92.19%
----	---------	----	--------

【KPI①】日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を94.0%以上とする。

- ・ 保険証未返納者に対し、年金機構資格喪失届処理後、2週間以内の文書催告の実施
- ・ 年金機構の一次催告に「協会催告チラシ(裏面返却回答票)」及び「返信用封筒」を同封し送付
- ・ 未返納者に対し、保険証返却について架電を実施(169件)

目標	85.95%以上	実績	90.13%
----	----------	----	--------

【KPI②】返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る)の回収率を対前年度以上とする。

- ・ 文書、架電による納付催告の実施(架電718件)
- ・ 弁護士名による弁護士催告の実施(467名/603債権)
- ・ 法的手続きの実施(13件)
- ・ 保険者間調整の活用(115件/16,624,732円)

目標	0.112%以下	実績	0.297%
----	----------	----	--------

【KPI③】医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする。

- ・ レセプトの請求内容について、受診日での資格の有無、生年月日や性別等記載情報が正しいかをシステムチェック後に目視チェックをおこない、疑義のあるものについては医療機関に対し文書照会を実施(9,502件)
- ・ レセプトの返戻に同意がある場合は医療機関に返戻し、同意がない場合は加入者に対し医療費の返納措置を実施

参考. 令和元年度KPI達成状況(一覧)

項目	内容	KPI	実績	達成状況
効果的なレセプト点検の推進	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以下とする	0.387%以上	0.340%	未達成
柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について対前年度以下とする	0.82%以上	0.78%	達成
返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	(1)日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を94.0%以上とする (2)返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率を対前年度以上とする (3)医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする	(1)94.0%以上 (2)85.95%以上 (3)0.112%以下	(1)92.19% (2)90.13% (3)0.297%	(1)未達成 (2)達成 (3)未達成
サービス水準の向上	(1)サービススタンダードの達成状況を100%とする (2)現金給付等の申請に係る郵送化率を90.0%以上とする	(1)100% (2)90%以上	(1)100% (2)89.3%	(1)達成 (2)未達成
限度額適用認定証の利用促進	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を86.0%以上とする	86.0%以上	84.0%	未達成
被扶養者資格再確認の徹底	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を89.0%以上とする	89.0%以上	91.7%	達成
オンライン資格確認の利用率向上	現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を72.2%以上とする	72.2%以上	78.7%	達成
生活習慣病予防健診・事業者健診データ取得・特定健診受診率の向上	(1)生活習慣病予防健診実施率を50.8%以上とする (2)事業者健診データ取得率を13.6%以上とする (3)被扶養者の特定健診受診率を28.4%以上とする	(1)50.8%以上 (2)13.6%以上 (3)28.4%以上	(1)46.2% (2)11.3% (3)29.8%	(1)未達成 (2)未達成 (3)達成
特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率を20.8%以上とする	20.8%以上	23.0%	達成
重症化予防対策の推進	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.0%以上とする	12.0%以上	11.2%	未達成
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	(1)広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする (2)全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を44.0%以上とする	(1)38.2%以上 (2)44.0%以上	(1)46.3% (2)47.6%	(1)達成 (2)達成
ジェネリック医薬品の使用促進	協会けんぽ奈良支部のジェネリック医薬品使用割合を74.6%以上とする	74.6%以上	73.1%	未達成
医療データ等の分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ	(1)他の被用者保険者との連携を深めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率を100%とする (2)「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する	(1)100% (2)実施	(1)100% (2)実施	(1)達成 (2)達成
費用対効果を踏まえたコスト削減等	一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、対前年度以下とする	0%	23.0%	未達成